



松浦所長から登録証を受け取る滝口市長

建設課

道の駅「たかの」が道の駅に登録
国から庄原市へ登録証が伝達

来春のオープンを目指し、中国横断自動車道尾道松江線の高野インターチェンジ付近に整備している高野観光交流ターミナルが、9月14日付けで道の駅に登録されました。

9月21日には市役所市長室で、国土交通省中国地方整備局三次河川国道事務所松浦勇治所長から滝口季彦市

長へ、登録証の伝達が行われました。

道の駅「たかの」は広島県内で17番目の道の駅として登録。全国では「道の駅」が新たに9駅登録され合計996駅になりました。中国地方では島根県の1駅とこの道の駅「たかの」が登録され、合計93駅になりました。

者課
齡社
高福

市長が長寿者を表敬訪問
百歳以上に敬老祝い金を贈呈

9月の老人保健福祉月間にあわせて、滝口季彦市長が9月10日から10月1日にかけて、市内の100歳以上の長寿者を訪問し、敬老祝い金を渡しました。あわせて、9月15日の「老人の日」を基準日として、満99歳と満100歳に贈られる内閣総理大臣からの記念品を伝達しました。

今年の祝い金贈呈対象者(大正2年3月31日以前に生まれた方)は73人、市内最高齢者は109歳となっています。



滝口市長の訪問を喜ぶ廣田綾子さん(左)

業課
興振
林

獣害から農作物を守る
アライグマ・ヌートリア防除従事者養成講習会

農作物被害の拡大防止を目的としたアライグマ・ヌートリア防除従事者養成講習会を8月30日、庄原市ふれあいセンターで開催しました。

当日は約40人が受講し、講師の広島県北部農林水産事務所の佐々木恵美子さん、広島県鳥獣保護員の田森光洋

さん、ファーム鳥取のエリアマネージャー 福留克信さんから、アライグマとヌートリアの生態に関することやかごわなの使い方などを学びました。

今回の受講者は、防除従事者に登録することで、狩猟免許(わな猟免許)を持つていなくても、アライグマとヌートリアを捕獲できるようになります。市は引き続き、農作物の鳥獣被害が低減できるよう、防除体制の整備に努めていきます。



講習会の様子

